

2022年度
京都歯科医療技術専門学校
学校関係者評価 報告書

2023年 2月
学校関係者評価委員会

目 次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的
2. 学校関係者評価の基本方針
3. 学校関係者評価委員会実施日時
4. 学校関係者評価委員会出席者
5. 自己点検・自己評価アンケート
6. 学校関係者評価方法

II. 学校関係者評価結果

1. 評価結果
 - A. 学校役員・専任教員結果
 - B. 学生アンケート結果
2. まとめ
3. 総 評

学校関係者評価報告書

この学校関係者評価報告書は、京都歯科医療技術専門学校（衛生士科・技工士科）の学校関係者評価委員会での検討結果を記載したものである。

令和 5年 2月15日

学 校 長 長澤 成明

自己点検・自己評価 集計担当者 村西 実智浩

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的

自己点検・自己評価結果の客観性・透明性を高めると共に、学校関係者評価委員会の設置により継続的な連携協力体制を確保し、学校運営の更なる改善を図ることを目的とする。

2. 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は、自己点検・自己評価結果をもとに、専修学校における学校評価ガイドラインに基づき実施する。

3. 学校関係者評価委員会実施日時

第1回実施日：令和 4年 9月14日（水）

ところ：京都歯科医療技術専門学校 会議室456

第2回実施日：令和 5年 2月 8日（水）

ところ：京都歯科医療技術専門学校 会議室456

4. 学校関係者評価委員会 出席者

◎学校関係者評価委員

	職 名	氏 名
委員長	歯科医師	後 藤 保
副委員長	歯科医師	大 西 太
委 員	歯科医師	岩 田 光 生
委 員	歯科医師	佐々木 継 泰
委 員	歯科医師	平 井 千香子

◎自己点検・自己評価委員

	職 名	氏 名
委員長	学 校 長	長 澤 成 明
副委員長	副学校長	請 田 研 二
委 員	副学校長	中 出 勝 久
委 員	教務部長	秦 野 博 司
委 員	衛生士科 学生部長	松 井 恭 子
委 員	技工士科 学生部長	栗 田 和 則
委 員	指導部 部長	村 西 実智浩
委 員	指導部 次長	有 井 真 弓

◎事務局(学校担当事務)

	職 名	氏 名
指導部 事業部	係 長 係 員	羽 山 浩 岩 村 信 子

5. 自己点検・自己評価アンケート

学校役員及び専任教員（計17名）への設問は63問、学生アンケート（衛生士科58回生46名・衛生士科59回生51名・衛生士科60回生53名・技工士科51回生17名・技工士科52回生22名）への設問は20問とした。設問については、資料1に示す。

実施日：2022年1月

実施方法：配票調査法

6. 学校関係者評価方法

学校関係者17名（回収率100%）が回答した自己点検・自己評価結果及び学生5クラス（回収率98.9%、技工士科52回生2名未回答）が回答した学校評価アンケートの結果に基づき、評価項目の結果及び改善点についてそれぞれ検討を行った。

学校関係者評価委員会は年2回開催し、意見を伺った。

なお、設問毎に評価項目は3回答（適切：A ほぼ適切：B 不適切：C）から選択し、その中で不適切評価の割合が比較的高いものを改善していく。

II. 学校関係者評価結果

1. 評価結果

A. 学校役員・専任教員

資料2に学校役員6名と専任教員11名の自己点検・自己評価のアンケート結果を示した。

設問61においては、不適切との回答が35%あり、改善策が求められる。

※改善が求められる設問を下記に示す。

設問61：学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか。

※改善方策について

設問65：現在のカリキュラムは授業の中に学生のボランティア活動を勧めるための取り組みはなく、支援も行っていないのが現状である。今後、支援が行えるカリキュラム作りをしていく必要がある。

昨年、3つの設問内容が酷似しており、今回設問の見直しを行い63問とした。

また、設問4, 8, 25, 26, 28, 37, 38, 49, 50, 59, 60, 61, 62, 63と多くの設問において、ほぼ適切との回答を得たが、まだ改善の余地があると考えられる。

B. 学生アンケート結果

資料3に学年5クラス（衛生士科58回生46名・衛生士科59回生51名・衛生士科60回生53名・技工士科51回生17名・技工士科52回生22名）の学生が回答した学校評価アンケートの結果を示した。

技工士科1年生では未回答2名あり。

衛生士科の3クラスにおいては、適切・ほぼ適切との回答が大半を占めた。技工士科では、設問19と20がクラスの約3割に不適切との回答があり、

改善が求められる。今後、ボランティア活動の推奨と国際的視野を求める授業の追加が必要であると思われる。

また、技工士科51回生では、設問2、3、6、7、8、12、14、18、19、20は、ほぼ適切との回答ではあったが、まだ改善の余地があると考えられる。

今年度も5クラス全てにおいてアンケートが実施できた。今後も多くの学生から回答結果が得られるようにアンケートの実施時期や内容について検討していきたい。

2. まとめ

今年度の学校評価結果においては、多くの設問において、適切・ほぼ適切との回答が得られ、概ね評価をいただいているものと思います。

しかしながら、一部の設問においては、まだ改善の余地が残されており、学生の理解が得られる教育環境の整備が必要と思われます。

3年前からコロナ禍となり、2年前にオンライン授業導入に係る補助制度を活用し、校内LAN工事の整備を行いました。今年度はコロナ等、自宅待機者への授業対応として遠隔授業を活用し、対面授業と両立した授業展開が出来たと思います。

今後も学生の教育環境の充実と時代に即した対応を行っていきます。

本校に入学した学生が、プロの医療ライセンスを目指す誇りある志しを持った人になることを祈念し、今後も本校の教育内容の充実を図っていききたいと思えます。

3. 総 評

本委員会は、京都歯科医療技術専門学校の学校運営に関する自己点検・自己評価結果について、学校関係者による評価を行い、自己点検・自己評価結果の客観性、透明性を高め、理解促進、連携協力によって学校運営の改善に役立つことを目的としています。

学生さんからの学校評価アンケートも拝見させていただきました。その結果、本校での学校生活の充実が図れ、広い視野を持った人間性豊かな医療人となる教育方針が確認できました。

自己点検・自己評価結果に基づき、私たち評価委員は、難しい判断をさせていただきましたが、ほとんどの項目で適切・ほぼ適切との評価を確認し、学校関係者の取組みにも理解を示すことが出来ました。

3年前からコロナ禍の中、中止になった行事や研修会が多く、その度にカリキュラム変更を行っていたことも承知しています。今後はコロナと共存しての対応となると思いますが、適切な学校運営、また学生の安全を守りながら、教育の質を落とさぬよう努力していってほしいと思います。

今回、学校関係者及び学生に行ったアンケート設問において不適切結果の割合が大きいと思われる内容を精査しました。来年度は設問を学校関係者アンケート62問、学生アンケート19問として行って下さい。今後も課題を解決するために、評価委員の意見を反映していただき、京都歯科医療技術専門学校の教育の質を高めていただく取組みをお願いします。

私たち評価委員は、今後も引き続き学校の発展に寄与していくと共に、在学生が安心して学べる環境をお手伝いしていきたいと思います。

学校関係者評価委員会を代表として総評と致します。

学校関係者評価委員会
委員長 後藤 保

本校の学校運営に役立てるため、自己点検・自己評価にご協力をお願いします。
下記の項目に対し、評価基準に合わせて該当する数字に○を記入して下さい。

【評価基準】 適切：A ほぼ適切：B 不適切：C

1. 教育理念・目的・育人人材像

	評価
1 目的・育人人材像は定められているか	A・B・C
2 育人人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	A・B・C
3 理念・目的・育人人材像等の達成に向け、特色ある教育活動に取り組んでいるか	A・B・C
4 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	A・B・C

2. 学校運営

5 理念・目的に沿った運営方針を定めているか	A・B・C
6 運営方針に沿った事業計画を定めているか	A・B・C
7 設置法人は学校運営のための組織を整備し、組織運営を適切に行っているか	A・B・C
8 人事に関する制度を整備しているか	A・B・C
9 給与制度を整備しているか	A・B・C
10 学籍簿は、学籍の記録、履修状況が正確に記載され、保管が適切にされているか	A・B・C

3. 教育活動

11 教育理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	A・B・C
12 学年毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	A・B・C
13 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	A・B・C
14 各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	A・B・C
15 各職業領域からの優れた講師の確保などマネジメントが行われているか	A・B・C
16 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準を明確にしているか	A・B・C
17 目標とする資格・免許は、教育課程上で明確に位置づけているか	A・B・C
18 資格取得の指導体制はあるか	A・B・C
19 資格・要件を備えた教員を確保しているか	A・B・C
20 教員の資質向上への取り組みを行っているか	A・B・C
21 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる教育を確保しているか	A・B・C
22 教員の先端的な知識・技能等を修得するための研修や資質向上のための取り組みが行われているか	A・B・C

4. 教育成果

23 府内就職率を高めるように努めているか	A・B・C
24 就職等進路に関する支援体制を整備しているか	A・B・C
25 関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか	A・B・C
26 具体的な就職指導に関するセミナー・講座等を開講しているか	A・B・C
27 中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか	A・B・C
28 中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか	A・B・C
29 学生相談に関する体制を整備しているか	A・B・C
30 生活面・学習面等での相談体制を整備しているか	A・B・C
31 保護者会の開催等、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っているか	A・B・C

5. 学生支援

32	進路・就職に関する情報提供等の支援体制はあるか	A・B・C
33	学生が相談できるカウンセリングは整備されているか	A・B・C
34	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	A・B・C
35	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	A・B・C
36	保護者と適切に連携しているか	A・B・C
37	卒業生の支援体制はあるか	A・B・C
38	キャリア教育を教育活動に導入しているか	A・B・C

6. 教育環境

39	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	A・B・C
40	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	A・B・C
41	学外授業の実施体制を整備しているか	A・B・C
42	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	A・B・C
43	施設・設備の整備、メンテナンスは適切に行われているか	A・B・C

7. 学生の募集と受入

44	学生募集を適切かつ効果的に行っているか	A・B・C
45	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	A・B・C
46	学生募集のための、ホームページの工夫はされているか	A・B・C
47	広報活動経費が適正に算定されているか	A・B・C
48	入学辞退者に対し、授業料等について、適切な取り扱いを行っているか	A・B・C

8. 財務

49	学校の財務状況を把握しているか	A・B・C
50	学校および法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	A・B・C
51	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A・B・C
52	財務について会計監査が適正に行われているか	A・B・C
53	財務情報公開の体制整備はできているか	A・B・C

9. 法令遵守

54	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	A・B・C
55	個人情報保護に関する対策を実施しているか	A・B・C
56	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	A・B・C
57	自己評価の問題点の改善に努めているか	A・B・C
58	自己評価結果を公開しているか	A・B・C

10. 社会貢献

59	重要な社会問題について、学生・教職員への啓発を行っているか	A・B・C
60	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	A・B・C
61	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	A・B・C
62	国際的視野を広げるための授業科目を設定しているか	A・B・C
63	学校資源を活用した生涯学習事業や附帯教育活動を実施しているか	A・B・C

自由記載：課題や意見等、あれば自由にご記入ください

--

一般社団法人 京都府歯科医師会会立 京都歯科医療技術専門学校
令和3年度学校評価 学生アンケート

令和4年1月実施

本校の学校運営に役立てるため、学生のみなさんのご意見をお聞きしたいと思います。
あなたの学科と学年を教えてください。
下記の項目に対し、評価基準に合わせて該当する数字に○を記入して下さい。

学科・学年
衛1・衛2・衛3
技1・技2

【評価基準】 適切：A ほぼ適切：B 不適切：C

1. 教育理念・目的・育成人材像

	評価
1 理念・目的・育成人材等の達成に向け、特色ある教育活動に取り組んでいるか	A・B・C

2. 教育活動

2 学年毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	A・B・C
3 各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	A・B・C
4 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準を明確にしているか	A・B・C
5 資格取得の指導体制はあるか	A・B・C

3. 教育成果

6 府内就職率を高めるように努めているか	A・B・C
7 就職等進路に関する支援体制を整備しているか	A・B・C
8 生活面・学習面等での相談体制を整備しているか	A・B・C
9 保護者会の開催等、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っているか	A・B・C

4. 学生支援

10 進路・就職に関する情報提供等の支援体制はあるか	A・B・C
11 学生が相談できるカウンセリングは整備されているか	A・B・C
12 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	A・B・C
13 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	A・B・C

5. 教育環境

14 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	A・B・C
15 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	A・B・C
16 学外授業の実施体制を整備しているか	A・B・C
17 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	A・B・C
18 施設・設備の整備、メンテナンスは適切に行われているか	A・B・C

6. 社会貢献

19 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	A・B・C
20 国際的視野を広げるための授業科目を設定しているか	A・B・C

学校評価アンケート結果(学校役員・教員)
(R4年1月実施)

【評価基準】 適切:A ほぼ適切:B 不適切:C

学校役員(6名)
教員(11名)

	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問15	設問16	設問17	設問18	設問19	設問20
A	15	14	11	8	13	12	12	8	10	15	13	12	13	10	10	11	14	14	13	12
B	2	3	6	9	4	5	5	9	7	2	4	5	4	7	7	6	3	3	4	4
C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

	設問21	設問22	設問23	設問24	設問25	設問26	設問27	設問28	設問29	設問30	設問31	設問32	設問33	設問34	設問35	設問36	設問37	設問38	設問39	設問40
A	13	9	11	12	5	6	14	6	15	12	11	14	13	13	9	11	7	7	13	13
B	4	7	6	5	12	11	3	11	2	5	5	3	4	3	7	6	9	9	4	4
C	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	1	0	0

	設問41	設問42	設問43	設問44	設問45	設問46	設問47	設問48	設問49	設問50	設問51	設問52	設問53	設問54	設問55	設問56	設問57	設問58	設問59	設問60
A	13	13	12	10	8	9	13	15	8	8	12	14	10	16	15	11	10	7	5	3
B	4	4	5	6	7	8	4	2	9	9	5	3	6	1	2	6	6	8	12	12
C	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	0	2

	設問61	設問62	設問63
A	2	3	3
B	9	11	11
C	6	3	3

35%

自己点検・自己評価結果からの改善点について

※改善が求められる設問

設問 61 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか

⇒

【改善策】
余裕を持たせるカリキュラム作成を行う

設問 4,8,25,26,28,37,38,49,50,59,60,61,62,63については、ほぼ適切ではあるが、まだ改善の余地がある

学校評価アンケート結果(学生)

(令和4年1月実施)

【評価基準】 適切:A ほぼ適切:B 不適切:C

アンケート回収 187名

衛生士科60回生(53名)

	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問15	設問16	設問17	設問18	設問19	設問20
1年生	39	43	41	48	47	36	39	40	32	40	39	39	42	47	44	41	44	40	28	30
回答数53	14	10	11	5	6	16	13	13	18	12	12	14	11	6	9	10	8	12	21	17
	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	2	0	0	0	0	2	1	0	4	6

衛生士科59回生(51名)

	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問15	設問16	設問17	設問18	設問19	設問20
2年生	36	35	32	36	39	31	36	33	26	33	31	31	26	37	34	36	35	36	18	18
回答数51	15	16	19	15	12	20	15	18	23	18	20	20	25	14	17	15	16	15	30	30
	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3

衛生士科58回生(46名)

	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問15	設問16	設問17	設問18	設問19	設問20
3年生	31	35	31	36	38	38	34	30	21	34	29	26	32	34	31	34	33	26	13	22
回答数46	15	11	14	10	8	7	11	16	21	12	14	18	12	11	15	11	13	19	28	20
	0	0	1	0	0	1	0	0	3	0	3	2	2	1	0	1	0	1	5	3

技工士科52回生(22名)

	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問15	設問16	設問17	設問18	設問19	設問20
1年生	19	14	14	17	17	13	13	16	11	12	14	13	12	19	19	16	18	16	9	12
回答数20	1	6	6	3	3	7	7	4	9	8	6	7	8	1	1	4	2	3	6	7
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	1

25%

技工士科51回生(17名)

	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問15	設問16	設問17	設問18	設問19	設問20
2年生	11	4	5	9	9	5	5	4	5	7	4	5	3	6	8	6	4	3	9	1
回答数17	6	11	12	8	8	11	11	12	9	9	12	11	14	10	9	9	13	13	9	11
	0	2	0	0	0	1	1	1	3	0	1	1	0	1	0	2	0	1	6	5

35% 29%

改善が求められる設問		改善策
設問	19	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか
	20	国際的視野を広げるための授業科目を設定しているか
		⇒
		⇒
		改善策
		支援が行えるを環境を整えていきたい
		国際的な講師の選択を行い、科目を設定していく

※技工士科において、設問19、設問20に不適切回答が顕著に出た
また、技工士科2年生において、設問2,3,6,7,8,12,14,18,19,20について、ほぼ適切ではあるが、まだ改善の余地がある